

令和8年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

（１）総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅳ生活環境の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	2 自然と調和した生活環境をつくる	現在、二酸化炭素等の温室効果ガスの増加による地球温暖化が問題視されており、廃棄物の焼却施設における二酸化炭素の排出も減少に向けて取り組む必要があります。 地球温暖化防止の観点からも、家庭から出るごみの量を削減することが不可欠であることから、ごみとして出すのではなく資源としての再利用を促し、市民へごみ減量化に対する意識啓発を目指します。	・ごみの減量と資源化の推進について、多世代への分かりやすい啓発、環境教育を推進します。 ・可燃ごみ及び不燃ごみの更なる排出抑制と資源の再生利用の促進いたします。 ・事業者に向けたごみの減量化・資源化への啓発を行うこと及び減量化を促進するほか、搬入料金の見直し等を目指します。
	施策	1 廃棄物処理・リサイクル		
	施策内容	ごみ収集・し尿処理・廃棄物対策の推進、ごみの減量化・資源化の推進		
	その他、拠法令及び分野別計画等	・ 廃棄物処理法 ・ 一般廃棄物処理基本計画 ・ 一般廃棄物処理実施計画		
事務事業名		じんかい処理事業		

（２）アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

（３）インプット（投入）

No.	アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 8 予算額	R 8 決算額
	活動名・事業名 （対象年）	R 8 活動・事業内容	指標名（単位）	R 8 目標値	R 9 目標値		
				R 8 実績値	R10 目標値		
①	家庭系一般廃棄物収集 （R8・9・10）	家庭から出されるごみの収集運搬	ごみ回収量（t）	10,900	10,800	211,234 千円	千円
					10,700		
②	資源物（有価物）売り払い （R8・9・10）	家庭から出される資源物を回収して売払い、不用品再生利用の促進を図る。	資源ごみ回収量（t）	550	600	0 千円	千円
					650		
③	資源回収報奨金 （R8・9・10）	資源として再生利用のできる不用品の回収を行った団体に対して報奨金を交付し、不用品再生利用の促進を図る。	集団資源回収量（t）	700	700	4,000 千円	千円
					700		
④	生ごみ処理機購入費補助金 （R8・9・10）	生ごみ処理機購入者に対して一部補助金を交付し、家庭から排出されるごみ減量化及び資源の有効利用を図る。	実施件数（件）	55	60	848 千円	千円
					70		
⑤	生ごみ堆肥化事業 （R8・9・10）	常総環境センターが主体となり、家庭から排出されるごみ減量化及び資源の有効利用の一環として、希望された世帯が生ごみ堆肥化事業を実施している。	実施件数（件）	130	150	0 千円	千円
					170		
⑥						千円	千円
⑦						千円	千円
⑧						千円	千円
⑨						千円	千円
⑩						千円	千円

（４）アウトカム（成果）

成果に関連する上記（２）の活動名・事業名（No.）	指標名（単位）	指標の設定理由と目標値の根拠 （目標値を達成することにより市として何が達成されるか）	R 7 現状値	R 8 目標値	R 8 実績値	目標年度
						目標値
・①・④・⑤	家庭系一般ごみの年間回収量（t）	市内のごみ減量の推進に係る指標として、年間の総回収量を設定します。毎年着実にごみの減量化を目指します。	10,991	10,900		令和9年度
						10,800
・②	リサイクル回収量（t）	資源の再生利用に係る指標として、資源物の回収量を設定します。循環社会の進展のため、毎年のリサイクル量増加を目指します。	537	550		令和9年度
						600
・①・④・⑤	1日1人当たりのごみ排出量（g）	市の人口増減を考慮した指標として別途設定します。実績値を基に、総合計画で掲げた目標値517gを目指します。	529	517		令和9年度
						517

（５）目的・成果の達成に向けた点検・改善

業務の振り返り	改善の余地	今後の方向性
	☐ コスト	
	☐ 活動	
	☐ 成果	
	☐ その他	